

平成 3 0 年度研究拠点形成事業
(A. 先端拠点形成型)
様式 1 - 1, 1 - 2 記入上の注意

- 記載内容は振興会ウェブサイト上で公開します。記載に当たっては一般国民に理解できるようわかりやすい言葉で記入してください。特に専門用語を用いる場合には、必ず解説を付してください。
- 実施計画書は、提出締切日までに Proself にて本会担当者宛てご提出ください。その後、本会担当者より拠点機関のご担当者宛て記入内容についての照会等を随時行いますので、照会后原則 1 週間以内に回答・修正版等の提出をお願いします。
- 具体的な記入例等、注意事項を以下に示します。平成 3 0 年度取扱い手引きとあわせて参照し、ご活用ください。

様式 1 - 1 「平成 3 0 年度実施計画書」 . . . P. 2 ~ 1 0

様式 1 - 2 「参加研究者リスト」 . . . P. 1 2 ~ 1 3

朱書き部分については、提出の際には削除をお願いします。

様式 1 - 1

[公表]

平成30年度研究拠点形成事業 (A. 先端拠点形成型) 実施計画書

1. 拠点機関

日本側拠点機関：
() 側拠点機関：
() 側拠点機関：

日本及び相手国の拠点機関名を記載してください。
拠点国が複数の場合は、行を増やして記入してください。

2. 研究交流課題名

(和文)： _____

(英文)： _____

ウェブアドレス (URL) を記入してください。まだウェブサイトを開設していない場合は、「〇月〇日頃開設予定」と記入のうえ、開設後に本会担当宛てに URL を連絡してください。

研究交流課題に係るウェブサイト：<http://> _____

3. 採択期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
(年度目)

「拠点機関」は、上述の「1. 拠点機関」と同一表記にしてください。
また、「実施組織代表者」は「拠点機関」の長を記入してください。
(例：「拠点機関」が大学の場合は学長、研究科の場合は研究科長)

4. 実施体制

日本側実施組織

拠点機関：〇〇大学

実施組織代表者 (所属部局・職名・氏名)：〇〇・教授・〇〇 〇〇

コーディネーター (所属部局・職名・氏名)：〇〇研究科・教授・〇〇 〇〇

協力機関：〇〇大学、〇〇大学

事務組織：〇〇部〇〇課

相手国側実施組織 (拠点機関名・協力機関名)

(1) 国名：〇〇〇〇

拠点機関：(英文) 〇〇 University
(和文) 〇〇大学

コーディネーター (所属部局・職名・氏名)：(英文) Department of 〇〇, Professor, Xxxx
XXXX

協力機関：(英文) 〇〇 University

コーディネーターの姓名を識別するため、Family Name
は全て「大文字」で記載してください。

(和文) ○○大学
経費負担区分：パターン1

パターン1または2を記入してください。

(2) 国名：

国名：○○○○

拠点機関：(英文) ○○ University

(和文) ○○大学

コーディネーター(所属部局・職名・氏名)：(英文) Department of ○○, Professor, Xxxx
XXXX

協力機関：なし

経費負担区分：パターン1

5. 全期間を通じた研究交流目標

※本事業申請時の申請書に記載した【研究交流目標】と同一の内容を記入してください。

6. 前年度までの研究交流活動による目標達成状況

※全期間を通じた研究交流目標に向けて、前年度までに何が、どの程度まで、達成できているか等の進捗状況について、1/2～1ページ程度の分量を目安に記入してください。

中間評価結果を反映させた目標を設定する場合、「中間評価結果を踏まえた対応」である旨を明記してください。

7. 平成30年度研究交流目標

※全期間を通じた研究交流目標に向けて、平成30年度に何を、どの程度まで到達させることを目指すのかについて、それぞれ1/2～1ページ程度の分量を目安に記入してください。

※本事業経費によらない活動について記入される場合には「(本事業経費外)」と明記してください。

<研究協力体制の構築>

今年度にどの相手国とどのような研究交流を実施することにより、全期間を通じた目標に対してどの程度までの研究協力体制を目指すのか具体的に記載してください（研究者の派遣や受け入れなどが定まっている場合にはその人数や期間などについて言及してください）。

<学術的観点>

相手国との共同研究やセミナー等、学術的な活動内容についての実施予定、および全期間を通じた目標に対してどの程度アカデミックな成果が見込めるか等について記載してください。

<若手研究者育成>

若手研究者を対象としたセミナーの開催や、相手国との派遣・受け入れ等、若手研究者育成を主目的とした活動内容について具体的に記載し、全期間を通じた目標に対してどの程度成果が見込めるか等について記載してください（派遣人数や派遣期間が決まっている場合には具体的に記載してください）。

<その他（社会貢献や独自の目的等）>

各拠点が独自で行う予定の社会貢献等について記載してください。

「平成30年度研究交流目標」を達成するために効果的な研究交流活動を計画してください。

8-1共同研究、8-2セミナー、8-3研究者交流の経費使用見込み額については、必ず積算内訳を作成した上で、様式1-3「平成30年度研究拠点形成事業経費使用見込み額」に記載してください。

8. 平成30年度研究交流計画状況

8-1 共同研究

整理番号	R-	研究開始年度	平成	年度	研究終了年度	平成	年度
共同研究課題名		(和文)					
日本側代表者 氏名・所属・職 名・研究者番号 <small>(参加研究者リスト に記載している研究 者番号を記入)</small>		(和文)					
		(英文)					
相手国側代表者 氏名・所属・職 名・研究者番号 <small>(参加研究者リスト に記載している研究 者番号を記入)</small>		(英文)					
30年度の 研究交流活動 計画							

本事業で実施する共同研究の内容について記載してください。複数の共同研究課題により共同研究を行う場合には、それぞれ「R-1、R-2…」として表を作成してください。

また、共同研究構成メンバーについては、「様式1-2参加研究者リスト」に全員を記載してください。

※全期間を通じた研究交流目標の達成に向け、**どの機関(国)とどのような共同研究を推進**していくのかについて、記入してください。

※共同研究にかかる国内の協力機関および相手国との進捗状況の確認・共有の方法や頻度等について、記入してください。

※相手国との研究交流にかかる**派遣・受入**について、**相手国・人数・期間**を明記してください。

30年度の 研究交流活動 から得られる ことが期待さ れる成果	
---	--

8-2 セミナー

整理番号	S-
セミナー名	(和文) 日本学術振興会研究拠点形成事業「 」
	(英文) JSP Core-to-Core Program “ ”
開催期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (日間)
開催地(国名、都市名、会場名)	(和文)
	(英文)
日本側開催責任者 氏名・所属・職名・研究者番号(参加研究者リストに記載している研究者番号を記入)	(和文)
	(英文)
相手国側開催責任者 氏名・所属・職名・研究者番号(参加研究者リストに記載している研究者番号を記入) (※日本以外での開催の場合)	(英文)

本事業で実施するセミナーについて、複数のセミナーを実施する場合は「S-1、S-2…」としてセミナーごとに記入してください。

参加者数

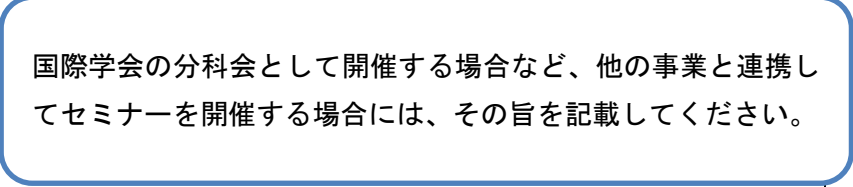
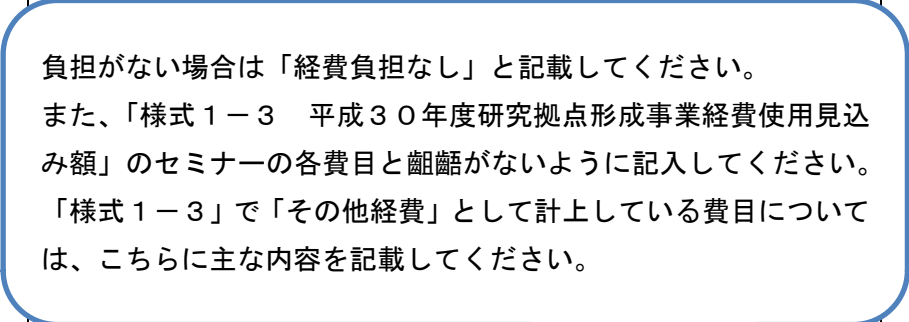
派遣先 派遣元		セミナー開催国 ()		備考
日本 〈人／人日〉	A.			<p>本事業費からの負担の有無に関わらず、参加者リストに記載されている方はA、記載されていない方はBに記入してください。</p>
	B.			
〈人／人日〉	A.			
	B.			
〈人／人日〉	A.			
	B.			
合計 〈人／人日〉	A.	0 / 0		
	B.	0		

A. 本事業参加者(参加研究者リストの研究者等)

B. 一般参加者(参加研究者リスト以外の研究者等)

※人／人日は、2／14(=2人を7日間ずつ計14日間派遣する)のように記載してください。

※日数は、出張期間（渡航日、帰国日を含めた期間）としてください。これによりがたい場合は、備考欄にその内訳等を記入してください。

セミナー開催の目的	※本セミナーの開催に当たっての意義・目的を記入してください。  国際学会の分科会として開催する場合など、他の事業と連携してセミナーを開催する場合には、その旨を記載してください。	
期待される成果	※本セミナーの開催によって得られることが期待される成果を記入してください。	
セミナーの運営組織	 負担がない場合は「経費負担なし」と記載してください。 また、「様式1-3 平成30年度研究拠点形成事業経費使用見込み額」のセミナーの各費目と齟齬がないように記入してください。 「様式1-3」で「その他経費」として計上している費目については、こちらに主な内容を記載してください。	
開催経費 分担内容	日本側	内容 外国旅費
	() 側	内容 会議費 国内旅費
	() 側	内容 外国旅費

8-3 研究者交流（共同研究、セミナー以外の交流）

共同研究、セミナー以外の交流（日本国内の交流を含む）計画を記入してください。

所属・職名 派遣者氏名・研究者番号 <small>（参加研究者リストに記載している研究者番号を記入）</small>	派遣時期 <small>（●月・●日間）</small>	訪問先・内容
		訪問先：
<p>研究者交流を実施しない場合は、表を削除し、「平成30年度実施なし」と記載してください。</p>		
		内容：
		訪問先：
		内容：

※1名につき1行で記入してください。

8-4 中間評価の指摘事項等を踏まえた対応

※中間評価を終えた研究交流課題は、必ず記入してください。それ以外の研究交流課題は、下記の項目を削除し、「該当なし」と記入してください。

※中間評価のコメントを抜粋の上、その対応について記入してください。

①評価コメント（抜粋）：

対応：

②評価コメント（抜粋）：

対応：

③評価コメント（抜粋）：

対応：

9. 平成30年度研究交流計画総人数・人日数

9-1 相手国との交流計画

派遣先 派遣元	日本 〈人／人日〉	〈人／人日〉	〈人／人日〉	合計 〈人／人日〉
日本 〈人／人日〉		/ (/)	/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
〈人／人日〉	/ (/)		/ (/)	0 / 0 (0 / 0)
〈人／人日〉	/ (/)	/ (/)		0 / 0 (0 / 0)
合計 〈人／人日〉	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)	0 / 0 (0 / 0)

※各国別に、研究者交流・共同研究・セミナーにて交流する人数・人日数を記載してください。（なお、記入の仕方の詳細については「記入上の注意」を参考にしてください。）

※相手国側マッチングファンドなど、本事業経費によらない交流についても、カッコ書きで記入してください。

※相手国以外の国へ派遣する場合、国名に続けて（第三国）と記入してください。

- 相手国はすべて記載のうえ、記載順序を「4. 実施体制」と統一してください。
- 人数と人日数は、「2/14」（＝2人を7日間ずつ、計14日間派遣（受入）する場合）のように記入してください。
- 本事業経費によらない交流については、カッコ書きで記入してください。
（A型パターン2で日本国内滞在費を本事業経費から負担する場合には、カッコ書きではなく表中の欄にそのまま記入してください。）
- 相手国同士の交流等、本事業経費によらない交流計画について把握している場合は、参考情報としてカッコ書きで記入してください。
- 第三国への派遣を計画している場合は、実施計画書と同時に第三国派遣申請書を提出してください。
（年度途中の場合であっても、事前に申請が必要となります。派遣申請書の記載内容は「取扱い手引」を参照してください。）

9-2 国内での交流計画

	交流予定人数 <人/人日>
合計	/ (/)

本事業経費による国内での交流計画を記入してください。

各費目の金額が「様式1-3 平成30年度研究拠点形成事業経費使用見込み額」の各費目合計と齟齬がないよう記入してください。

10. 平成30年度経費使用見込み額

(単位 円)

	経費内訳	金額	備考
研究交流経費	国内旅費		国内旅費、外国旅費の合計は、研究交流経費の50%以上であること。
	外国旅費		
	謝金		
	備品・消耗品購入費		
	その他の経費		
	不課税取引・非課税取引に係る消費税		※外国旅費および謝金以外に不課税・非課税取引の該当がある場合には、備考欄にその内容を記入してください。
	計		0
業務委託手数料			研究交流経費の10%を上限とし、必要な額であること。また、消費税額は内額とする。
合計		0	

合計金額は、先にお知らせした平成30年度配分額（研究交流経費および業務委託手数料（研究交流経費の10%以内）の合計金額）以内で記入してください。

【様式1-2 参加研究者リスト 記入上の注意】

- 研究者番号は、本事業実施期間全体を通して1人につき1つの研究者番号を使用します。(ただし、削除と入力した研究者を再度追加する場合は、新しい行に記入し、新しい研究者番号を使用してください。)
- コーディネーターを含め、本事業に継続的に参加する予定の研究者全員を記入してください。
- すべての様式において、同一人物について氏名の表記を統一してください。(漢字表記、スペル、LAST NAME/First nameの大文字・小文字の別・順序、スペース等)
- 参加研究者の範囲(取扱い手引Ⅱ. 5①~③)に該当しない研究者を参加研究者としたい場合は、実施計画書と同時に参加申請書を提出してください。年度途中の場合は、事前に申請が必要になります(提出書類や記載内容は「取扱い手引」を参照してください。)。参加が承認された場合には、承認通知に記載の承認番号を備考欄に記載してください。

(1) 日本側参加研究者リスト

平成30年度研究拠点形
(1) 日本側参加研究者

参加人数、削除人数は自動計算されますので、入力不要です。
※計算式を変更しないでください

研究者を追加する場合は、備考欄に「●年●月追加」と記入してください。また、研究倫理教育の履修完了を確認し、「履修済」と記入してください。

日本側拠点機関名	○○大学	参加人数	5
研究交流課題名	○○○○○○○○○○○○	削除人数	1名

研究者を削除する場合は、備考欄に「●年●月削除」と記入してください。
※行を削除しないでください

所属	職名	専門分野	機関区分	国名				
○研究科	教授	○○○○○	拠点機関					
○研究科	教授	○○○○○	拠点機関					
			協力機関		2018年1月追加、履修済			
1-4	○○ ○○	○○○○ ○○○○	○○大学○○研究科	准教授	○○○○○	協力機関		2018年6月削除
1-5	○○ ○○	○○○○ ○○○○	○○大学○○研究科	博士課程学生	○○○○○	協力機関		
1-6	○○ ○○	○○○○ ○○○○	○○大学○○研究科	研究員	○○○○○	協力研究者	インド	2018年7月追加、承認番号28-1H30A
1-7								

(2) 相手

第三国からの参加者については、所属の国名を記入してください。

参加申請が承認された場合には、承認通知に記載の承認番号を備考欄に記載してください。

平成30年度研究
(2)相手国(米国)

相手国側拠点ごとにリストを作成し、相手国名をそれぞれ記入してください。

相手国側拠点機関名	〇〇大学					参加人数	5名
研究交流課題名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇					削除人数	0名
研究者番号	国名	氏名	所属	職名	専門分野	機関区分	備考
2-1	the U.S.A.	Xxxx XXXX	XXXX University	Professor	XXXXXX	拠点機関	
2-2	the U.S.A.	Xxxx XXXX	XXXX University	Professor	XXXXXX	拠点機関	
2-3	the U.S.A.	Xxxx XXXX	XXXX University	Researcher	XXXXXX	協力機関	
2-4	the U.S.A.	Xxxx XXXX	XXXX University	Professor	XXXXXX	協力機関	2018年6月追加
2-5	the U.S.A.	Xxxx XXXX	XXXX University	Doctoral Student	XXXXXX	協力機関	

国名は、研究者の所属する相手国側拠点機関の国名を記入してください。
(国籍ではありません)

国名、氏名、所属、職名、専門分野は、すべて英文で記入してください。
(中国・韓国を含む)